

平成 30 年 2 月 14 日



各 位

株 式 会 社 F R O N T E O
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 上 杉 知 弘
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)連結決算において下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 29 年 11 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

当連結会計年度においては、今後の競争に勝ち抜くグローバルレベルに通用する強靱なサービス体制の構築と事業採算の改善に向けて、当社の連結子会社である FRONTEO USA, Inc. (以下、「FUSA」という)の構造改革を進めております。当第 3 四半期においては、FUSA の構造改革をさらに加速させ収益体質の早期実現を確実なものとするため、拠点の事務所施設や組織の再編・統廃合など、さらに一步踏み込んだ構造改革の新たな実施に伴う構造改革費用を計上したことに加え、国内連結子会社(株式会社 FRONTEO ヘルスケア)のソフトウェアについて減損損失を計上したことにより、以下の特別損失 531 百万円を計上いたしました。

FUSA の構造改革は継続して取組んでいくため、第 4 四半期に 50 百万円、通期では 893 百万円の特別損失を計上する見込みであります。

	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期 (見込み)	平成 30 年 3 月期 通期見込み
構造改革費用	277 百万円	493 百万円	50 百万円	820 百万円
減損損失	34 百万円	38 百万円	-	73 百万円
特別損失 計	312 百万円	531 百万円	50 百万円	893 百万円

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,600	百万円 200	百万円 150	百万円 △417	円 銭 △10.97
今回発表予想 (B)	12,600	200	100	△895	△23.55
増減額(B-A)	—	—	△50	△478	—
増減率 (%)	—	—	△33.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	11,207	△1,206	△1,254	△948	△26.07

修正の理由

平成 30 年 3 月期通期決算につきましては、売上高および営業利益は、概ね前回公表した業績予想どおりに推移する見込ですが、経常利益は為替の影響により、前回の予想を下回る見通しであります。さらに特別損失として FUSA における新たな構造改革費用等を反映し、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正しております。

(注) 上記業績予想は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後、為替の変動等様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

以上